

厚板平面形状計

走行する厚鋼板の板幅、キャンパー(板曲がり)、板長さを測定する装置です。

特徴

- 厚板製品の板幅情報を元に測定前に鋼板両側端部の直上に光切断形状センサをプリセット、走行する鋼板の全長にわたって板幅を測定します。
- 搬送基準側の端面上方へ、鋼板長手方向に所定間隔で配列された2台の光切断形状センサにより鋼板側端面位置を検出することで、搬送時の遮行影響を受けず、キャンパー測定が可能です。
- 走行する厚鋼板の先尾端検出用フォトセンサ及びレーザードップラセンサにより、非接触にて鋼板の測長が可能です。

対象材料

- 厚鋼板 測定対象サイズ(板幅、板厚、板長)は不問

装置仕様

- 測定項目 板幅、キャンパー、板長さ
- 測定精度 (2 σ) 板幅 $\pm 1.5\text{mm}$ 、板長さ $\pm 6\text{mm}$ (@鋼板10m長)
- 装置構成 図1参照

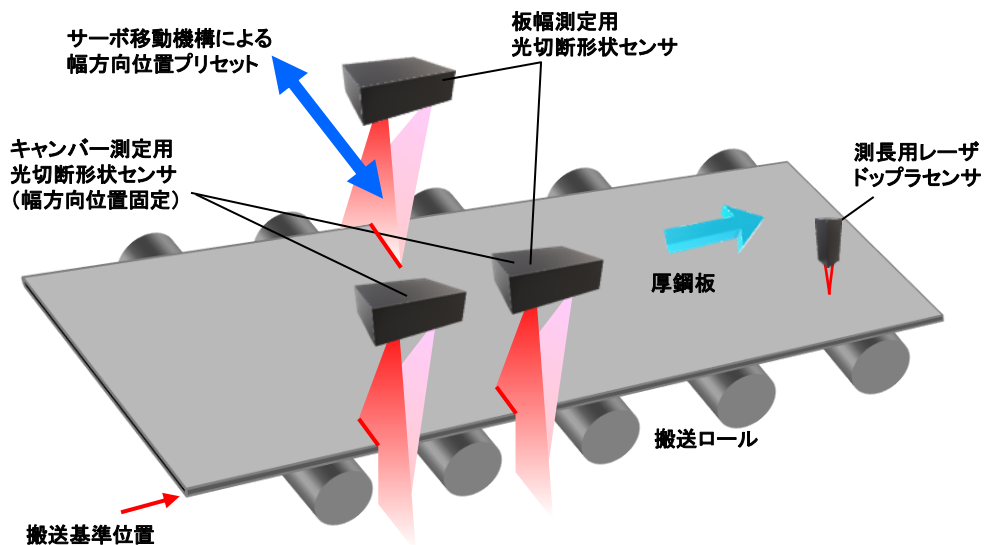


図1 装置構成

装置適用例

図2は、厚板工場への装置適用例です。

搬送テーブル上を厚鋼板が2枚並列して走行する並列搬送材に対しても、図1で説明の各種レーザセンサを板幅方向に2セット配置することで、板個別に板幅、キャンパー、板長さの同時測定が可能です。

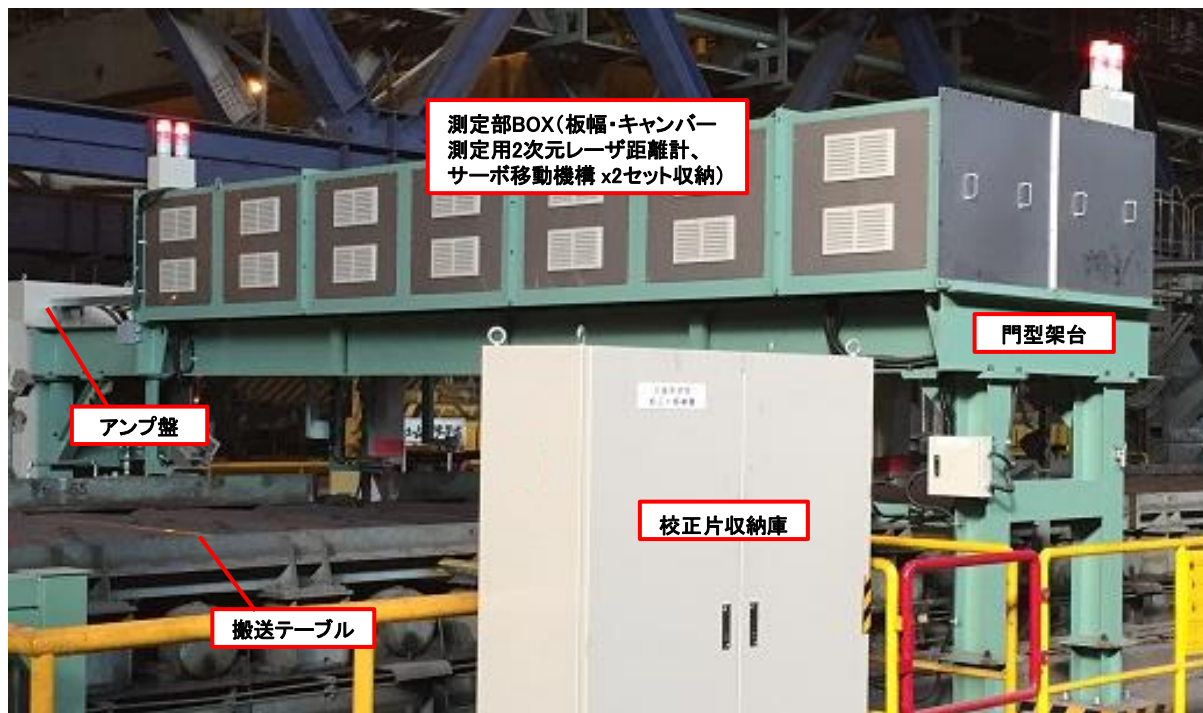


図2 装置適用例

その他

センサー一覧に戻る

是非ご相談ください。
<https://www.jfe-planteng.co.jp/>
最寄りの営業所・支店はHPをご覧ください。